

僕の彼女は案外寝取られる。
〜After 統合版〜



兄ちゃんガンバレー
伴ちゃんに負けるなー

お おう！
任せとけ！！

あふんっ甲羅やめてっ

ハア…ハア…
伴ちゃんのパンツ…♡
伴ちゃんのマ○コ…♡

…来る度、当然のように
セクハラされるんですけど

当然のように気付かないん
ですよね、この人^{彼氏}は…







彼氏弟「んふ〜っ♡
んふ〜っ♡」

伴「ちよつ!!」

彼氏「え? 伴ちゃん
何か言った?」

伴「…な、なんでもないです。」

(かつ…嗅がないでください!
変態ですか…っ!)

ドクッ

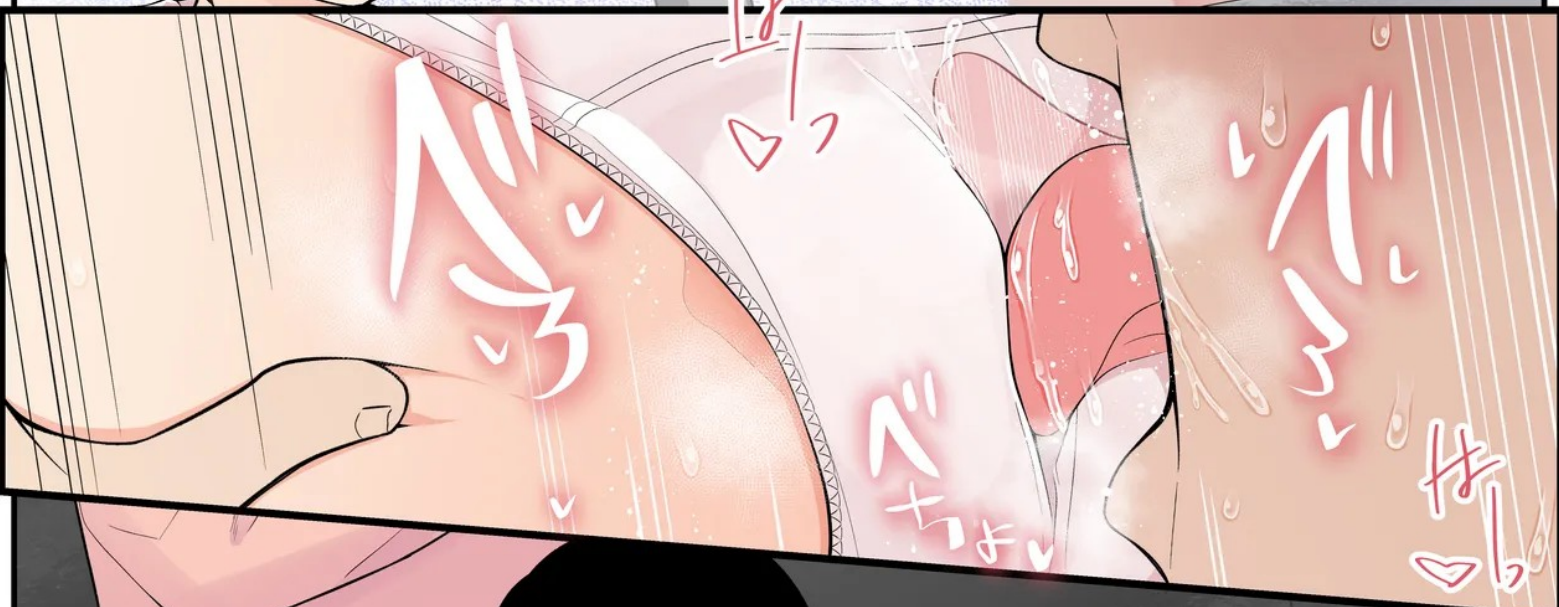
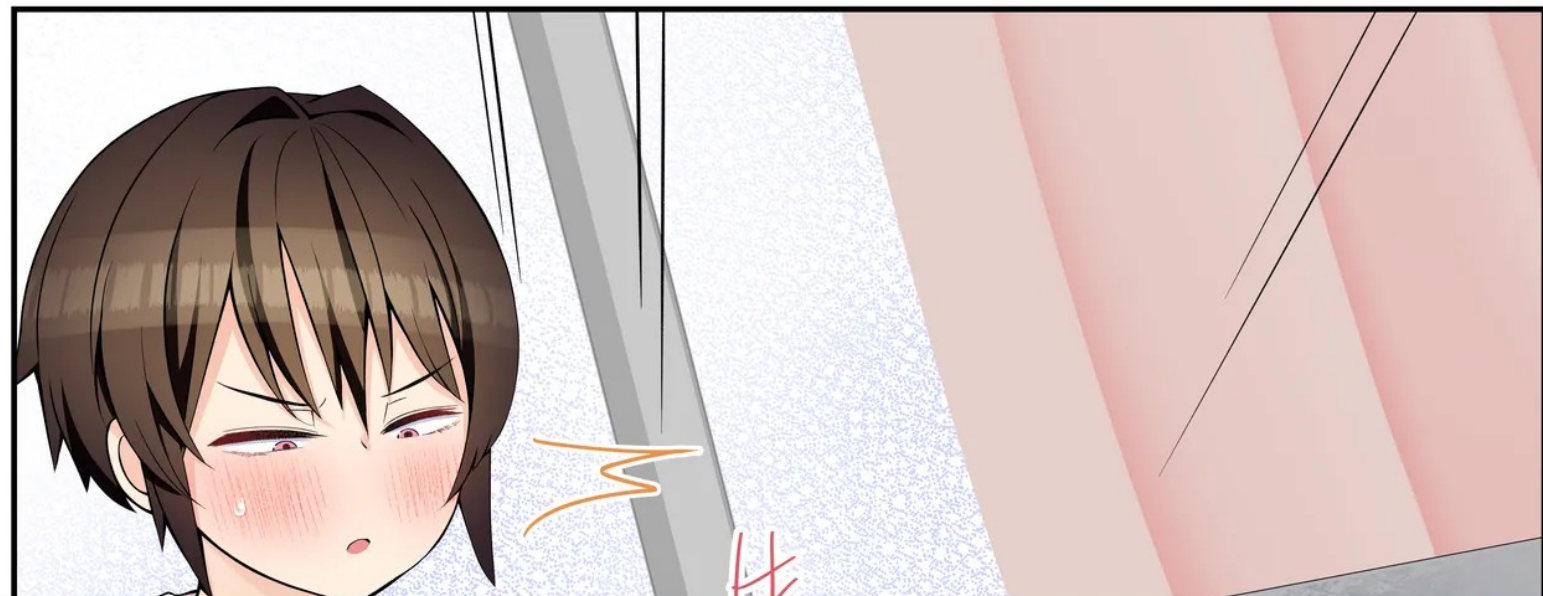
フス

フス









彼氏「うわゝ負けたあー！」

ハァハァハァ

バグ

ハァハァ

バグ

ホラ、次お前の^弟...

あれ？

伴ちゃん息荒くない？」

伴「……白熱しましたので。」

フム...

ドキ

ドキ

フム...

?

レタマ...

彼氏「そっかー(弟も息荒いのはなんでだ？」

くっ流石伴ちゃんガードが固い...!!
パンツは見えないか...!!」





彼氏(彼女が自分ん家で手料理を
振る舞ってくれるなんて、
俺は幸せ者だなあ……)

伴「っ…できる…まで
こっち向かないで…
ください……。」

彼氏「はい！」

(恥ずかしがっちゃって
可愛いなあ♡)







彼氏(彼女が自分ん家で手料理を
振る舞ってくれるなんて、
俺は幸せ者だなあ……)

彼氏弟「イケッ！
イケイケッ！！

兄ちゃんの前で
イツちゃえよー！

伴「っ…できる…まで
こっち向かないで…
ください……。」

彼氏「はい！」

(恥ずかしがつちやつて
可愛いなあ♡)

伴「やめて…
動かさないで…
ほ、本当に…
イツちゃ……♡♡♡」











併(…ト)

(♡♡♡♡♡♡♡♡)

ト♡♡♡♡♡♡♡♡

ト♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡





彼氏「えっ アレ?!
と、伴ちゃんどうしたの!?

大丈夫!」

伴「……。
なんでもないです。
ちよつと…転んだだけ…」

彼氏「そ、そうなの?」

(ん?なんで
弟がここに…?)

あつ!

と、伴ちゃんの
パンツが見えてる!
ラッキー♡!!!)







彼氏弟「ねーねー
伴ちゃんはさー」

兄ちゃんとは「一緒に
お風呂入ったの？」

伴「……入ってないです。」

彼氏弟「そっかー！」

じゃあさ、これから
うちでお風呂入る時は
僕とだけ入るんだよ♡

兄ちゃんが入るのは禁止ね。
誘われたって断るんだよ！」

伴「……。」

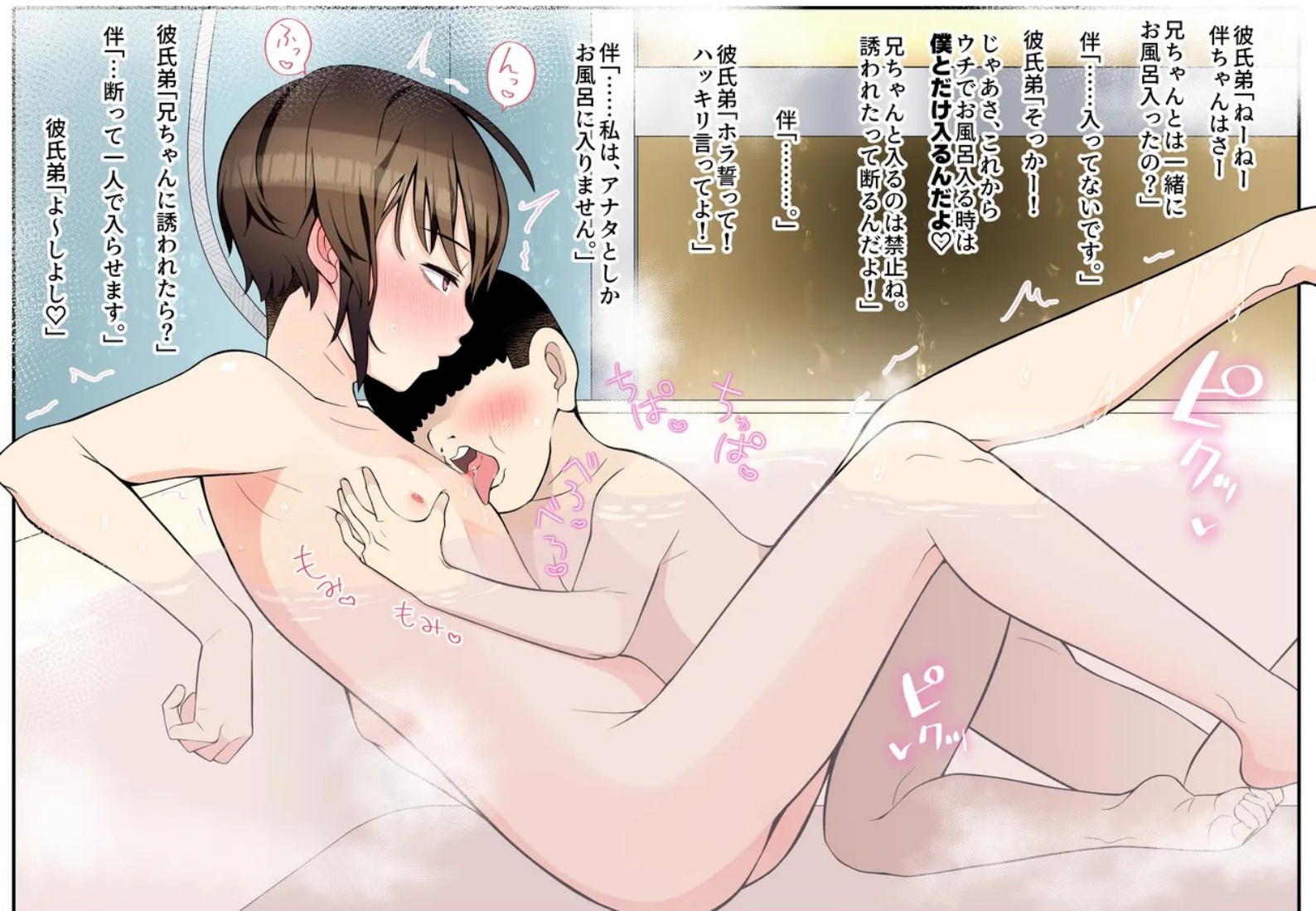
彼氏弟「ホラ誓って！
ハッキリ言ってよ！」

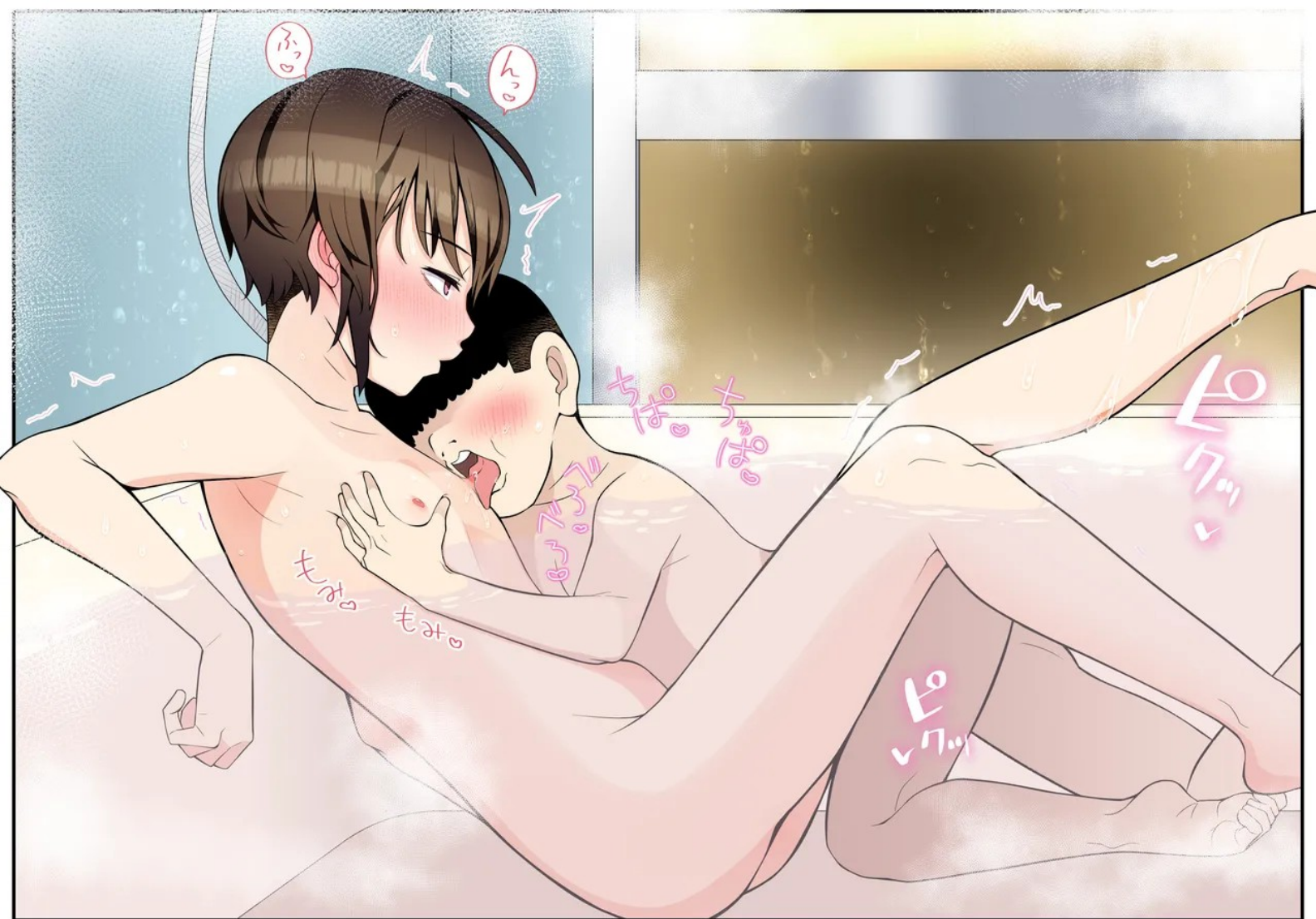
伴「……私は、アナタとしか
お風呂に入りません。」

彼氏弟「兄ちゃんに誘われたら？」

伴「……断って一人で入らせます。」

彼氏弟「よしよし♡」







彼氏「伴ちゃん、
お湯加減どう？」

伴「……悪く無いです。」

彼氏「そっか良かった！
…な、なら俺も、いつ一緒に
入っちゃおうかな？」

伴「お断りします。」

彼氏「う、うん…
言ってみただけ。
弟も家にいるし、
ちよっとそれは無いよね、
ハハハ……。」

伴（その弟はアナタの彼女と
一緒に風呂に入って
乳首吸い転がしてますけどね……）







【RESULT】

<状態>

絶頂：1回

軽イキ：1回

<行為>

強制露出

下着越しクニニ

乳首責め

手マン

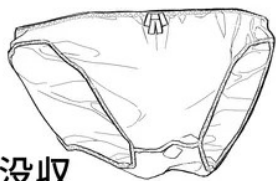
一緒にお風呂

隠姦

命令服従

<着衣>

下着(パンツ)没収



彼氏宅で料理中に絶頂させられ、汚れてしまったので風呂を借りる。その際、隠れて一緒に入ってきた彼氏弟に、

今後「彼氏とは一緒に風呂には入らない」と誓いを立てさせられてしまう。風呂後は泊っていくよう勧められたが、流石に危険を感じ帰宅。

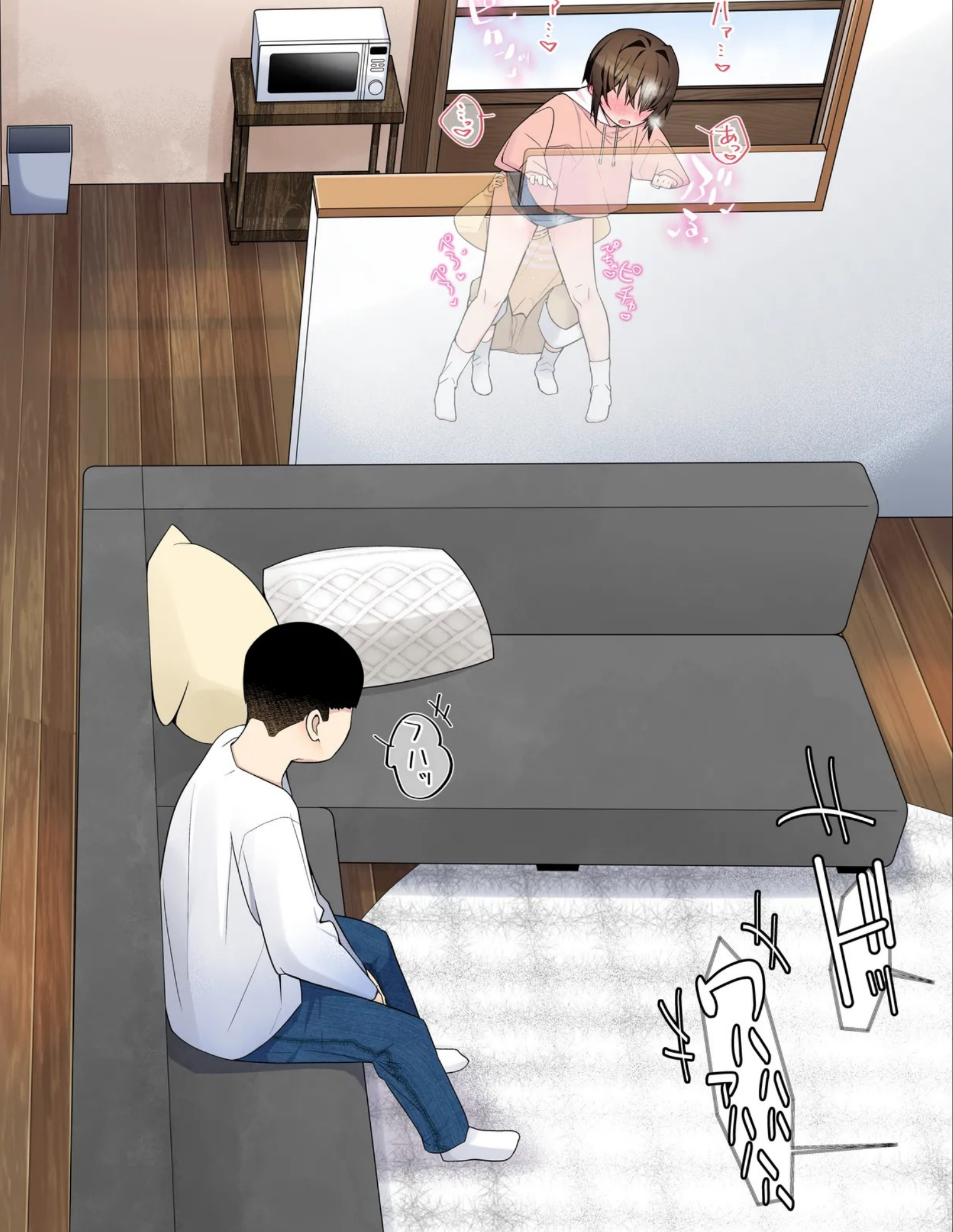
今回も最後の一线は守り、難を逃れた。

彼氏弟..彼氏くんの生意気盛りの弟。実際のところ、伴に好意を持っているわけではなく、あくまでも兄ちゃんの彼女という、都合良く近くに存在した女体に過ぎない。実は学校に彼女がいる。

彼氏弟に手マンでイカされる数十分前.....



彼氏弟に手マンでイカされる数十分前.....





ちょっとトイレー



ちょっとトイレー

ハッ
ハッ

ちゅー
ぐちゃぐちゃ

ちゅー
ぐちゃぐちゃ





ただいまー
ってアレ!?

どうしたの伴ちゃん!!
味付け失敗した?!

モゴ
.....
モゴ

だ、大丈夫だよ!
俺伴ちゃんの料理なら
例えどんな味でも
食い切ってみせるから!

ただいまー
ってアレ!?

どうしたの伴ちゃん!!
味付け失敗した?!

モゴ
……
モゴ

もぞ

もぞ

伴ちゃんは今
ボクの精液食べてて
喋れないんだよねー♡

だ、大丈夫だよ!
俺伴ちゃんの料理なら
例えどんな味でも
食い切ってみせるから!

ほんと…この兄弟は…♡

彼氏「あれ？伴ちゃん
マント長いやつにしたんだ？」

伴「ええええ……
まあ……」

彼氏「それにしても、
ゴブ郎のやつ今日は
出てこないね」

馬鹿なんじゃないですか
こんなの……！

絶対バレます
バレる……♡

あつ……中で——
どんどん大きくなって
……♡

佐々木 伴
Lv : 16
職業 : 軽戦士 (Lv1)
ゴブリンの雌奴隷 (Lv20)
状態 : 発情/挿入

魔術 : ミニマム

旅人(♀)の長外套

彼氏「あれ？伴ちゃん
マント長いやつにしたんだ？」

伴「ええええ……
まあ……」

彼氏「それにしても、
ゴブ郎のやつ今日は
出てこないわね」

馬鹿なんじゃないですか
こんなの……！

絶対バレます
バレる……♡

あつ……中で——
どんどん大きくなって
……♡

佐々木 伴
Lv : 16
職業 : 軽戦士 (Lv1)
ゴブリンの雌奴隷 (Lv20)
状態 : 発情/挿入

魔術 : ミニマム

旅人(♀)の長外套

なんで…そんな…っ
激しく突くんですかっ♡

バレないよう声を
押し殺してる私が
馬鹿みたい……っ♡

ああ……
今、思い切り声を出したら
気持ち良いだろうな……♡

アナタが聞いた事も無い……
下品で、下等なゴブリンに
媚びきった……喘ぎ声を……♡





♡♡♡♡♡♡♡♡
伴
♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

伴「……なんでこんな
服持ってるんですか？」

「ハイハイ
言いますよ……」

ドキ

伴「私、ササキ・トモは、
現世に帰る事を諦め、

ご主人様の孕み袋として、
この世界に残る事を誓います。」

チタ

ドキ

ドキ

伴「彼には……
呪酒を飲ませました。
今夜はもう……起きません。」

トモの初夜を……
存分にお召し上がりください。」

伴(ハア……どうどう
こんな恰好で誓いの儀式まで……)

伴(自分が何を考えているのか、
自分でもよくわかりません)



伴(ただ……彼が
喜んでくれると……
どうしようもなく幸せな
気持ちで湧きあがってしまっ……♡)

ものすごく嫌な夢を見た。

伴ちゃんと…ヨブ郎が…
俺のベッドの上で
セックスしてる夢。

伴ちゃんは花嫁衣装の一部や、
それらとはミスマッチな
ヨツイ手枷を付けてて…

ヨブ郎に媚びて、
僕を貶すような言葉を
スラスラと口にしていた。

まるで慣れた事みたいに、
まるで悦んでるみたいに。

最低な夢だ。
起きたら忘れてると
良いな……。



夢.....だよな？



彼氏「ふう…クエスト完了だね」

伴「そうですか。
では、ギルドへの報告をお願いします。

私とご主人様は先に帰りますので」

彼氏「え…俺だけ？
ね、ねえ伴ちゃん久しぶりに
一緒に食事でもさ…」

伴「ふざけないでください。
ご主人様の命令を無視する
つもりですか？」

伴「クエスト中はともかく…
みだりに私に近付かない。
そう命令されているでしょう？」

彼氏「あ…ああ…
そうだった…う…よね。
うん、ごめんなさい…」



ゴブ郎「やー!!」

伴「は、はい…ツクエスト外で
勝手に他の雄と喋って
申し訳…ありません…!」

ゴブ郎「やー!!」

伴「伴は、ゴ布林様の物です♡」



伴「彼氏の前だろうと…っ♡
ご主人様の手で…
しっ潮吹きアクメッ
しますっ♡♡♡♡」



あふ...♡

あふ...♡

あふ...♡

あふ...♡

あふ...♡

あふ...♡









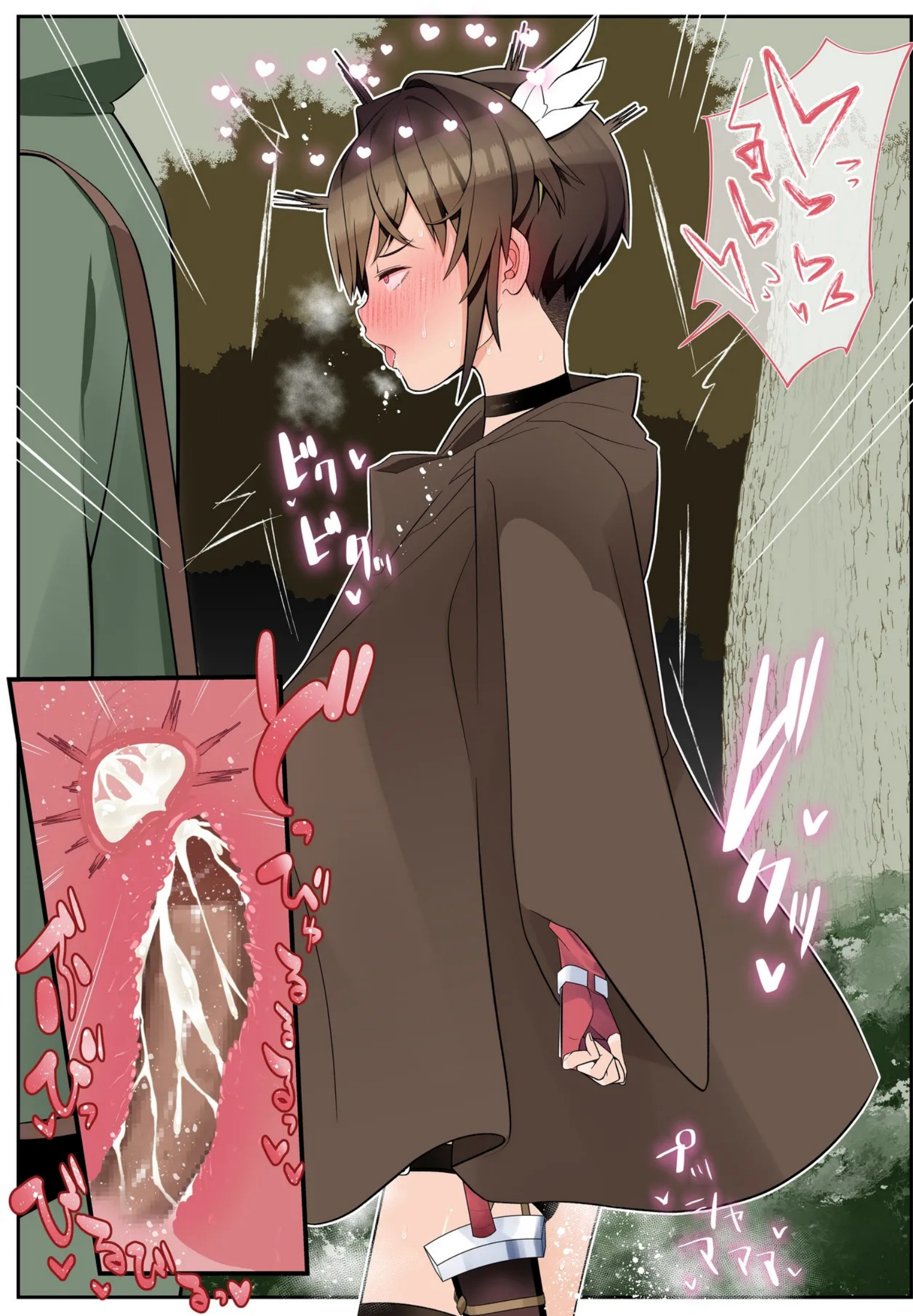
ぶる

ビク

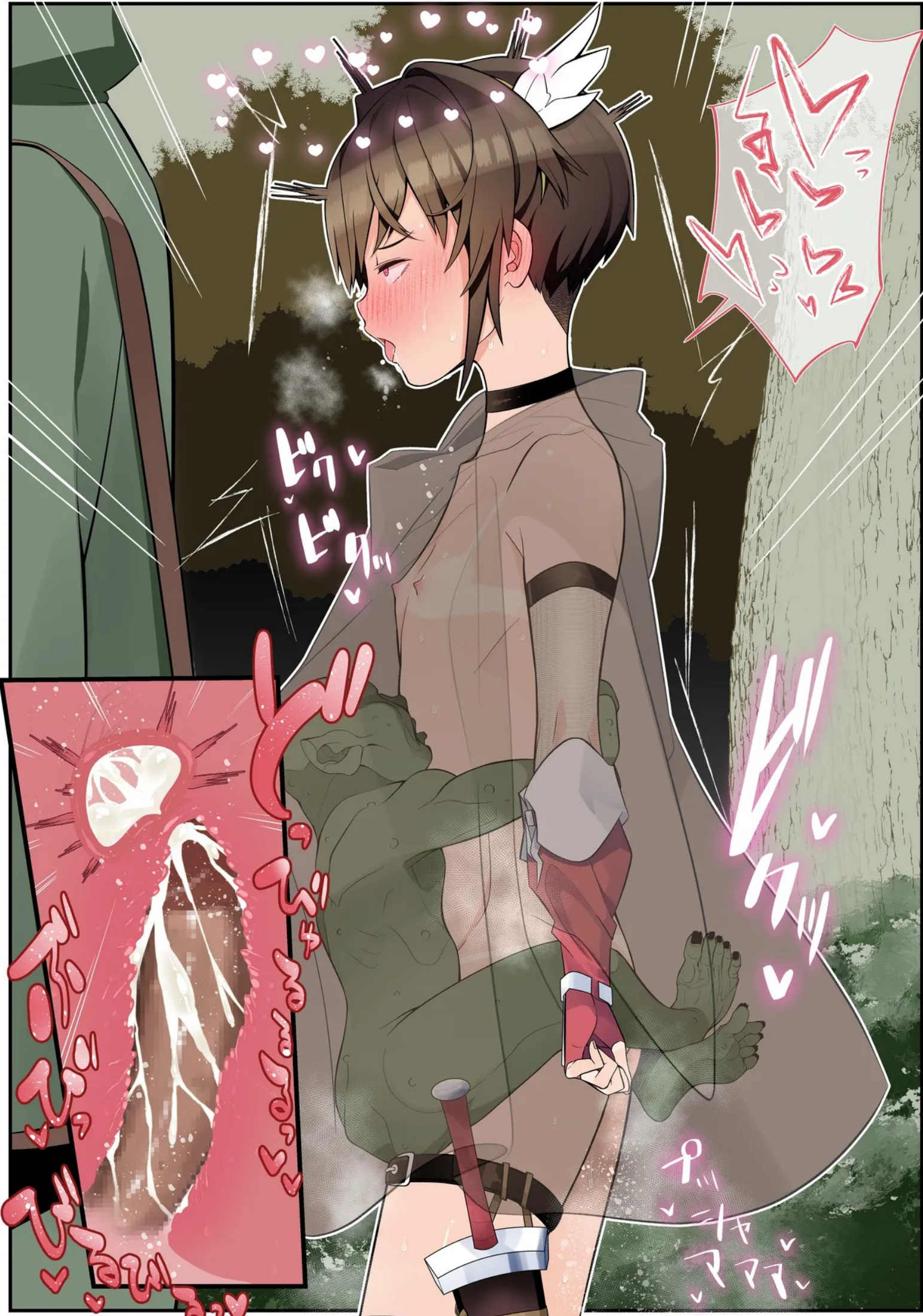
ぶる













フフフ♡

フフフ♡

フフフ♡

フフフ♡























【RESULT】

<状態>

絶頂：8回
潮吹き：3回
精神支配(完堕ち)
中出し：12回
外出し：4回

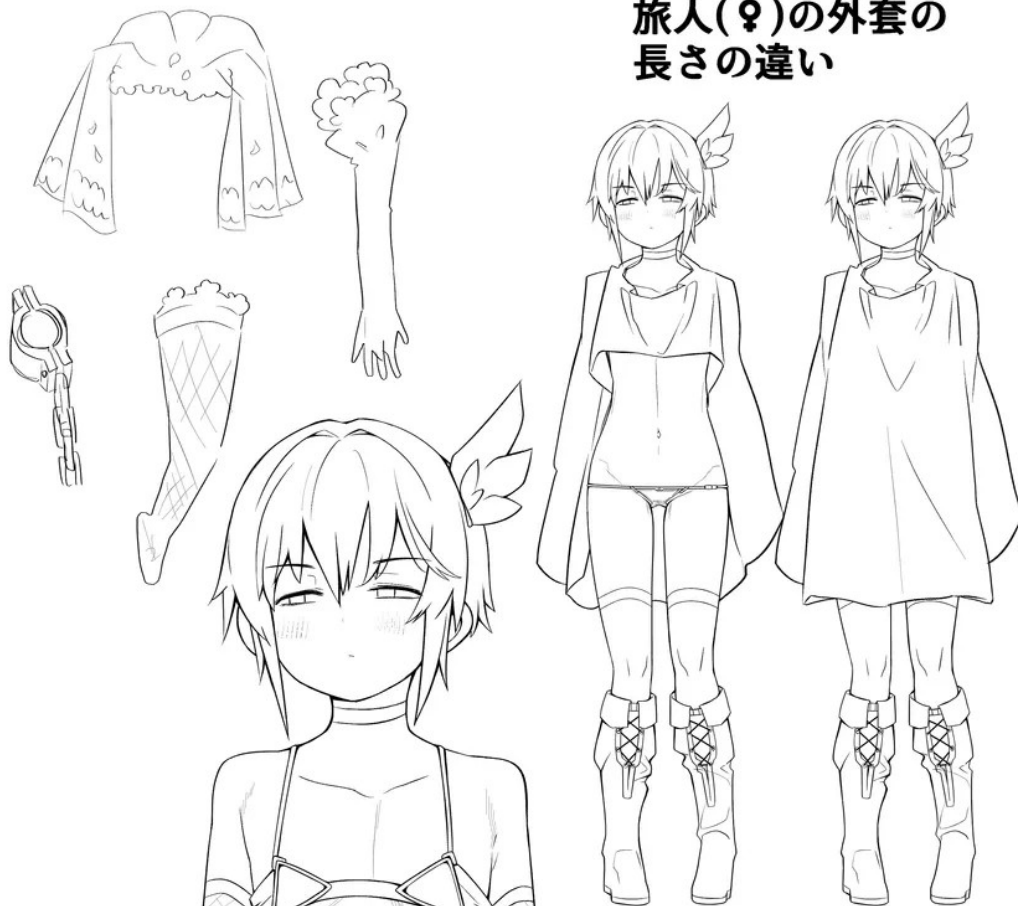
<行為>

手マン
隠姦
騎乗位

<着衣>

奴隷花嫁衣装→装備

旅人(♀)の外套の
長さの違い



ゴブ郎…異世界で伴達が
始めて出会ったモンスター。

実は自傷して哀れを乞い、
冒険者を騙す狡猾なゴブリン。
現在はエルフが残した呪術で
2人を精神支配し奴隷にしている。



飽きたら捨てる予定だが、殺すと人間達を
悪戯に敵に回すと理解しているので、
なるべく記憶消去して放逐することになっている。

いよいよ彼氏共々、ゴブ郎の精神支配下に堕ちた。
ゴブ郎のやること成すことに疑問を持たない。
ゴブ郎から日々種付けされる毎日だが、
異世界人であることから流石に異種族間での
妊娠は免れている。

コン、コン、

彼氏「伴ちゃん
明日の依頼の事なんだけどさー

って…アレ
ゴブ郎も…一緒だったんだ」

伴「……何か？」

彼氏「あ、ああいや、
ちよつと驚いただけ…」

彼氏（寝室にまで入れるなんて、
すごく仲良くなってるな）」

ギィ……



コン、コン

彼氏「伴ちゃん
明日の依頼の事なんだけどさー」

って…アレ
ゴブ郎も…一緒だったんだ」

伴「……何か？」

彼氏「あ、ああいや、
ちよつと驚いただけ…」

彼氏（寝室にまで入れるなんて、
すごく仲良くなってるな）



彼氏(あれ……?そもそもゴラ郎って
この家に入れたんだっけ……?)

伴「……っ!」

ビ
ク

モ
ヤ

彼氏(なんだっけ……なんだか
この状況はおかしいような……)

彼氏(あれ……?そもそもゴラ郎って
この家に入れたんだっけ……?)

伴「……っ!?」

ビ
ク

モヤ

彼氏(なんだっけ……なんだか
この状況はおかしいような……)

伴「ちよつ…今はっ…」

彼氏「え？何？」

伴「…なんでもっ…ないですっ♡」

結局、依頼の話はあまりできなかった。
なんとなく、まるで誰かに後ろから
押されてるみたいに揺れる伴ちゃんが
気になって…。

蒸氣した顔や…甘い声色が気になって…。

ビッパッ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

パッ♡

パッ♡

パッ♡

伴「……イク…♡♡」

彼氏「そ、そっか…」
(あれ…ゴブ郎とこいつた？)

目の前で一際強く震えた伴ちゃんを見て、
何でだか勃起してしまった。

伴「ちよつ…今はっ…」

彼氏「え？何？」

伴「…なんでもっ…ならですっ♡」

結局、依頼の話はあまりできなかった。
なんとなく、まるで誰かに後ろから
押されてるみたいに揺れる伴ちゃんが
気になって…。

蒸気した顔や…甘い声色が気になって…。

ビッパッ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

パッ♡

パッ♡

パッ♡

伴「……イク…♡♡♡」

彼氏「そ、そっか…」
(あれ…ゴブ郎とこいつた？)

目の前で一際強く震えた伴ちゃんを見て、
何でだか勃起してしまった。

彼氏「うへえ…今日も混んでるね」
でも大丈夫！彼氏の僕が近くにいれば、
痴漢なんて寄ってこないからね！

しっかり背中にもまっつて
離れないでね！」

ぶるるる

ぶるるる

めっ！めっ！

めっ！めっ！

めっ！めっ！

伴（……とくはオポ
……後ろから刺さるのどちやうど。）

伴(それにしても.....
大きいなあ...)

太くて...固くて...熱くて.....

このちゃんぽん...
私の処女は.....)

伴(それだ...多分この後は.....)

ぬっ♡

ちゅ♡

ぐちゃ♡

ぬっ♡

ぬっ♡

ぶっ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



伴(中).....
出す.....♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

ぎゅるる...

いちゃっ!!



彼氏」と、伴ちゃんどうかした？
背中掴んでイテテテ

伴「……………ごめんなさい。
なんでもないです。」

フュー

フュー

伴（はあ……………
お腹が……………熱い……………♡）

ポ

おぢ「伴ちゃんは軽いなあ
簡単に持ち上げられるよ」

伴「うううう
ツツツツツツ」

とつくに周囲にはバレていた
のかもしれない。

だけど、彼氏にはまだバレて
いないのかもしれない。

おぢ「もう少し高く声を出したら…
流石に彼氏クンも振り返って
気付いてくれるかもしれないねえ？」

そう言っておじさんは
更に強く私を揺さぶる。

伴（お願い…お願い…♡）

伴（気付かないで——♡♡♡♡♡）

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

トイレに連れ込まれた

おぢ「さあ伴ちゃん、ここなら大丈夫
漏らすほど感じてほしいんだよ♡」

伴「……いいわけないでしょ…」

おぢ「こんなに濡らしてるのに、
伴ちゃんは強情で可愛いねえ♡」



おぢ「まあ抵抗しても…」

伴「ツツツ♡♡♡」

おぢ「無駄なんだよなあ♡」

伴(………)



伴(悔しいけど…体中全部
熱くって……♡)

気持ち良くて
あけわからなくなる……♡)

もっと気持ちいい事
して欲しい……♡)

チュボ♡

ポタ♡

アチャ♡

伴(まんをキモいおじさんなのに……
もっと……キスしたりたい……♡♡♡)

ミミ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

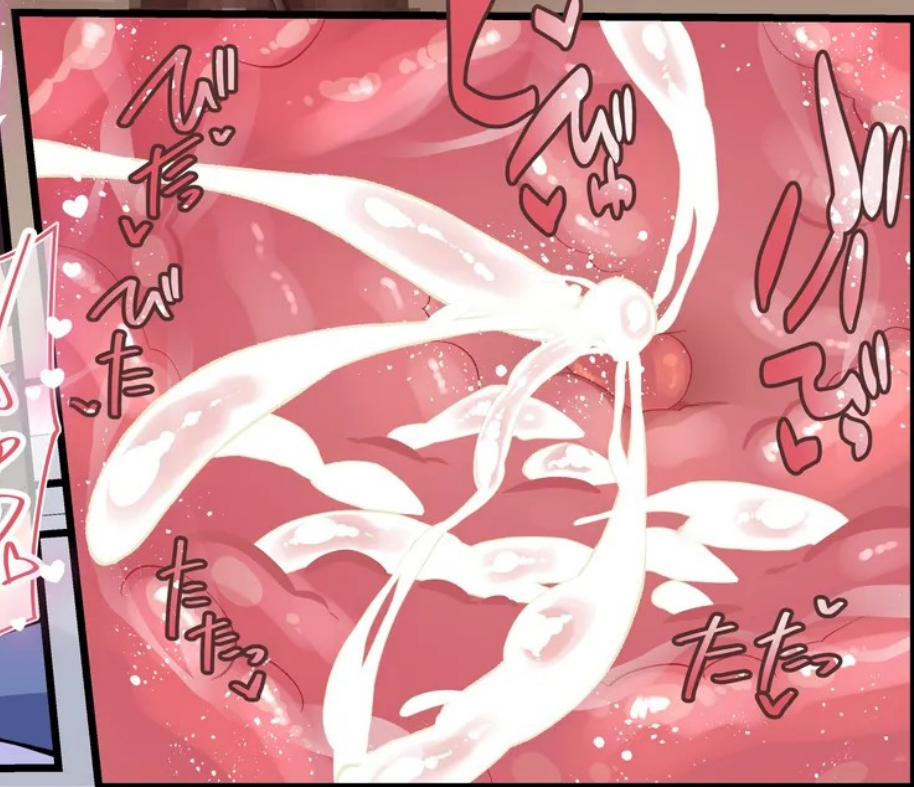
ん♡

ん♡

ん♡

おぢ「出る…!!」

伴「♡♡♡♡♡♡♡♡」















いちゃめっ!!

いちゃめっ!!

ぎゅっ...

いちゃめっ!!

いちゃめっ!!



















んっ♡

んっ♡

あっ♡

んっ♡

あっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

チゅぽ♡

ぽっ♡



【RESULT】

<状態>

絶頂：4回

中出し：2回

<行為>

手マン

背面立位

背面駅弁

対面座位

<約束>

おちと2人きりの温泉旅行

秘密さわさわおち・伴ちゃんの「はじめて」を奪った男。
伴ちゃん以外にも数人の女性を秘密さわさわで堕としたテクニシャン。
立派に家庭も持っており、行為がバレれば人生終了。
電車内で「事に至る」場合、周囲の人間を金で雇い壁にしている。



「電車内でも寝取られる」の後にも変わらず
秘密さわさわされ続けていた。
しかし、防げないものの一度邪魔された
事が気に入らなかったのか、

彼氏と一緒にいる時を狙い、
挑発するかのようにならで犯される
回数が増えた。

今度2人きりで温泉旅行に行く
約束をしてしまった。

彼氏「今日もギューギューに
混んでるな...あつ伴ちゃんだ」

ぎゅう

彼氏「ん...?もしかしてアレ...
伴ちゃん周りに挟まって
浮いてるんじゃないか？」

ぎゅう

彼氏「ぷっ...
わ、笑っちゃ悪いけど、
真顔で浮いてる伴ちゃん
面白いな...!」

ぷん

〜ん

彼氏「今日もギユウギユウに
混んでるな...あつ伴ちゃんだ」

ザラ

彼氏「ん...?もしかしてアレ...
伴ちゃん周りに挟まって
浮いてるんじゃないか?」

ザラ

彼氏「ぷっ...
わ、笑っちゃ悪いけど、
真顔で浮いてる伴ちゃん
面白いな...!」

ぽん

〜ん



ザウ

ザウ

お
1515

〜ん

彼氏「助けてあげたいけど、
こう混んでちゃ近くに行くことも…」

プツッ

乗客「ちよつと…押さないでくれませんか？」

彼氏「あつす…すみませんどうも…」

(怒られちゃったよ…)



彼氏「助けてあげたいけど、
こう混んでちゃ近くに行くことも…」

ズン

乗客「ちよつと…押さないでくれませんか？」

彼氏「あつす…すみませんどうも…」

(怒られちゃったよ…)



彼氏「…でもなんか…
伴ちゃんの様子がおかしいような…」

彼氏「そう何度も痴漢に遭うなんて
無いとは思うけど…やっぱり心配だ。
近くにいてあげないと…」

乗客2「おい押すな！」

彼氏「うわっすみません！」

(う、動けない！)

んっ

うっ

もみっ

もみっ

もみっ♡

きゅん

ピン

んっ

ぶるっ

もみっ♡

彼氏「でもなんか…
伴ちゃんの様子がおかしいような…」

彼氏「そう何度も痴漢に遭うなんて
無いとは思うけど…やっぱり心配だ。
近くにいてあげないと…」

乗客2「おい押すな！」

彼氏「うわっすみません！」
(う、動けない！)

ん

う

ん

ぶる

もみ

もみ

もみ

きゅん

もみ

ピン



ん

ん

ん

ぶる

や

も

も

き

も

ぽ

彼氏「うう…気になるけど、
もう大人しくしておくしかないか…」

なんだかんだでもうすぐ
降りる駅だし…」

彼氏「そんな連日痴漢に遭う
なんて事もあり得ないよね。」

あー…早く駅につかない
かなー……」



彼氏「うう…気になるけど、
もう大人しくしておくしかないか…」

なんだかんだでもうすぐ
降りる駅だし…」

彼氏「そんな連日痴漢に遭う
なんて事もあり得ないよね。」

あー…早く駅につかない
かなー……」



